

「よしもと芸術文化祭」記者発表

1. 記者会見

【説明】

市長　今回は「よしもと芸術文化祭」ということで、お手元のパンフレットを見ただけで、わくわくするような内容になっていると思います。吉本さんには指定管理をお願いしています。生駒市は住宅都市であり、文化の意識が高い地域です。音楽や囲碁将棋もそうですが、いろんな分野の文化活動が盛んで、お笑いも含めたこの文化祭が市民の方にも喜んでいただけるものを吉本さんに提案していただいたことを大変うれしく思います。

去年、吉本新喜劇を生駒でやっていただき、私も舞台に立ちましたが、私自身も本当に夢のような経験でしたし、市民のみなさんもあの舞台に立ちたいと思っている方が沢山おられて、普段なかなかないのですが、「市長の力で私を吉本の舞台に立たせてください」という話もありました(笑)。新喜劇、吉本さんの持つソフト面、コンテンツの魅力というのが、生駒市民にとっても深く刻まれているんだなと改めて思いました。そんな中で、一番大きいのは、この素人名人会だと思います。私も小さい時から見ていて、きよし師匠が司会をされていましたが、それを生駒でやっていただくのは、感無量です。大阪から生駒山を越えて静かなまちというイメージが強いかもしれませんが、多分一芸をお持ちの方は沢山おられると思います。是非生駒市の方はもちろん生駒市近辺の方にも沢山参加していただき、テレビでやっていた素人名人会に負けないものができたら最高だなと思います。私も会場に足を運びたいと思っています。サブローさんも司会をしていただき、これほど贅沢なことはないと、市長として、また一ファンとして当日は楽しませていただきたいと思います。

吉本担当者　イベント概要を説明いたします。私どもは吉本南海共同事業体という組織で、生駒市の生涯学習施設の指定管理を始めたのが平成 28 年からで、3 年目になりちょうど 5 年契約の半分ということで、いろいろな事業をしています。吉本新喜劇も昨年たけまるホールで満員の盛況の中、いたしました。生駒は文化的な意識の高いまちで、お笑いに関しては余り関心がないのではないかと考えていたのですが、吉本新喜劇のチケットを発売したところ、初日だけでも 650 枚売れ、これまでもないことで、生駒でもお笑いに関して大変興味をお持ちいただいているということがわかりました。吉本興業は、近畿地方でも複数の施設指定管理をしています。吉本を活かした行事で地域の皆さんにもっと喜んでもらえる企画はないかと考え、「よしもと芸術文化祭」と名付けまして、吉本のいろんなタレントや芸人が集まり、地域の皆さまに楽しい一日を過ごしてもらえたらと、吉本が指定管理でよかったなと思ってもらえればと思います。

生駒市の生涯学習施設のメインであります たけまるホールを中心にして、11 月 23 日（祝日、金）に一大イベントをします。その中で、メインになるのが素人名人会です。これは西川きよしが長年司会をしていたもので、30 数年していましたが、笑点に抜かれるまでは日本最長のテレビ番組でした。吉本の芸人もこの素人名人会を経てからプロになったという者も沢山おられます。この素人名人会、テレビはもう終わりましたが、生駒の皆さんは、年配、若い方でいろんな芸ごとを習っている方が沢山おられるので、この晴れ舞台で披露していただきたいと思います。

大平サブローが司会をいたします。もちろん、少しでも多くの人たちにご参加頂きたいのですが、時

間の関係上、予選会をいたします。予選は11月3日に行います。本番には20組ほど出てもらいますが、もう少し増える可能性はあります。その他、午前中には4件のワークショップも行います。「Spanのマコト」は、受講無料でおりがみ教室を行います。「女と男の和田ちゃん」は最近ブームの消しゴムで葉書等のスタンプを作る、消しゴムはんこアート教室を。元吉本新喜劇におりました「たいぞう」は、たいぞうがデザインしたTシャツにぬり絵をしてもらう、ぬり絵アートTシャツ教室を。調理師免許を持つ吉本新喜劇青野敏行での「青ちゃんの作っチャイナ」と題して中華料理教室を行います。11月23日当日ではないんですけれども、「宮川花子の爆笑おしゃべり編み物教室」ということで、宮川花子は手芸、編み物が得意で、生駒の皆さんに編み物で帽子を作ってもらいます。10月2日、9日、23日の3日間行います。作品は23日にたけまるホールのロビーに展示いたします。

それから「奈良県住みます芸人十手リンジン」が子どもから大人までどなたでも漫才を手ほどきします、漫才教室を、漫才というのは簡単そうに見えてとても難しんですけれども。漫才というのはコミュニケーションのツールとしても非常に有効で、是非とも漫才を体験して頂きたいと思います。優秀な方は、素人名人会に出場して頂きます。また、10月27日にはばたきホールで生駒歌謡選手権を行います。ここでは十手リンジンが司会で大平サブローは審査委員長を務めます。この成績優秀者も素人名人会に出てもらいます。こちら是非奮ってご応募ください。「よしもと芸術文化祭」では通常NGKでしか買えないよしもとグッズを生駒でも購入いただける、「よしもとエンタメショップ」を臨時開店いたしますので、買い物だけでもお立ち寄り頂けます。是非ともよろしく願いいたします。

進行 それでは「よしもと芸術文化祭」の中核の素人名人会の司会も務めて頂く大平サブローさんに意気込みを語っていただきます。

大平サブロー 大平サブローです。デビューしまして43年になるわけですし、19歳の時にレッツゴー三匹の門下に入りまして、いきなりの仕事が生駒でございました。11月半ば頃だったと思いますが、当時レッツゴー三匹をの大ファンのお宅に招かれ、豪華なすき焼きをご馳走になったことを覚えております。そこから間があいて、奈良国際でゴルフで訪れたこともあります。生駒市民の印象としては、ほっこりとされている感じがしました。まちは大阪、奈良の中心部に近いんですが、情的にも田舎じゃないのに田舎みたいな、優しくほっこりさせてくれるまちという記憶があります。素人名人会は、16歳頃から挑戦していましたが、私は敢闘賞しか貰えなかったんですけれども、なかなか厳しい。今のM1よりも厳しい。昔はそんな闘いがありました。かつて西川きよしさんが司会をされていたテレビ番組は終わりましたが、また生駒から復活し、ここから何か始まるかもしれないということで、司会をさせていただくということは、とても光栄に思っております。ここで明日の吉本のスターが、音楽のスターが生まれるかもしれません。どんな方が出てくるのかとても楽しみです。11月23日は単なるイベントではなくて、スター発掘ステージになるような、それぐらい盛り上がるようになるのではないかと考えております。皆さんしっかりといい記事を書いていただいて、いい方が参加して頂けるようによろしくお願いしたいと思います。

進行 漫才教室の先生を務める奈良県住みます芸人十手リンジンさんからも意気込みを語っていただきます。

十手リンジン 十手リンジンと申します。緊張しかないですね。3カ月に1回たけまるホールで単独ライブをしています。生駒さんに漫才を育ててもらっているといっても過言ではありません。手取り足取り漫才のレクチャーをするんですが、逆に教えてもらったり参考にしたりということもしたいと思います。私らは元気を取り柄なので、元気になって頂く、元気な会場を目指すよう気合を入れてやります。市長も来てください。レインボーラムネやラッキーガーデンなどもネタに入れます。よろしく願いします。

市長 いつも生駒のネタを入れて頂いてありがとうございます。私も参加したいと思います。

【 質疑応答 】

記者 素人名人会は、結局予選会で 20 人ですか。それ以外の歌謡選手権だとか漫才教室からも出るんですか。

吉本担当者 はい。歌謡選手権からも数名、予定ですけれども。漫才教室は 2, 3 組です。

記者 全部で 25 組ぐらいですか。

吉本担当者 はい。

市長 十手リンジンには生駒の子どもらにも教えて頂いています。

記者 奈良県ないとか出場者の要件はありますか。

吉本担当者 特にないです。年齢も地域も不問です。生駒に集まってもらいたいと思います。

記者 素人名人会は生駒に限らず、各地でやられているんですか。

吉本担当者 先日、徳島の鳴門市で地域のイベントとして行いました。

記者 よくやっているんですか。

吉本担当者 めったにしておりません。

記者 素人限定ですね。

吉本担当者 はい。

記者 サブロー師匠、思い出のあるタイトルということでは。

大平サブロー 私の若いころはクラスの目立ちたがりは、みんな 1 回は申し込んでいましたね。ほとんど予選で落とされましたけれども。テレビで映るということは大変でした。レベルが高かったです。

記者 やすしさんの物まねをしながら司会するということはありますか。

大平サブロー わかりませんね。急に西川さんになるかもしれませんし。

記者 市長、前回の新喜劇の時は舞台に上がられましたが、今回一芸を披露されることはありますか。

市長 生駒市役所の中にも結構タレントはいると思いますので、チーム生駒市役所でいっしょに出たいとは考えています。新喜劇にも出させていただきましたが、多分そんな市長もいないと思いますが、今回もその経験を生かして出たいです。

記者 何から出るんですか。コント。

市長 まだ誰にも声をかけていませんし、ぜんぜん決まっていません。

記者 サブローさん、先程生駒のことを優しくほっこりさせてもらうまちということでしたが、改めて生駒市に対してどのような印象を持たれたかということと、素人名人会をどんなふう to 成功させていきたいということの意気込みをお願いします。

大平サブロー 生駒は大阪というイメージがあります。また生駒は独自の主張をしていると思います。大助花子さんが住まれている、畑や星がきれいという話をよく聞きます。それを聞くと田舎だなあとありますが、実際来ると街で、独自の色があるのかなと思います。大阪と奈良の両方のいい所があって、大阪に近い。私は豊中に住んでいるんですが、住宅地としてはいいんですが、ご高齢の方が増えてきて、まちを活性化する様な取り組みが大事だと思っています。市長にお会いして 40 代で若く、何かちょっといい街なのかなと思います。素人名人会については、どんな方が出てくるか分からないので、私は性格として厳しくはないので、つつこまず、やりやすいように、普段の実力以上なものを出せるような雰囲気を出して出していきたいと思っています。私は審査員ではありませんが、審査員の先生には、厳しい顔をしていると萎縮するので、審査員の先生も笑わせるように、喜ぶようなことを言うようレクチャー

したいと思います。

記者 テレビで放送する予定はありますか。

吉本担当者 今のところありません。

記者 徳島の鳴門でしたときは、どなたが司会でしたか。それと時期は。

吉本担当者 石田靖です。審査委員長に間寛平です。鳴門阿波踊りの一環です。今年です。鳴門市と吉本の共同で、急遽決まったものです。

記者 今回は、審査員は誰ですか。

吉本担当者 漫才の「女と男」。後は地元の踊りの先生ですとか音楽の先生などで、どんなジャンルになるか分かりませんので、それに合わせて数名になると思います。

記者 名人会の最高に賞の名前は。

吉本担当者 名人賞です。その中から名人大賞をひとり選びます。

記者 副賞はありますか。

吉本担当者 まだ考えておりませんが、名人賞はメダルにして、大賞はトロフィーにするとか。

記者 歌謡選手権は文化祭と別メニューですか。

吉本担当者 別ですが、関連イベントではあります。歌謡選手権の中から推薦で数名、名人会に出て頂けたらと思っております。

記者 宮川花子さんと十手リンジンの分は23日ではないけれども文化祭の一環ですね。

吉本担当者 はい。

記者 総勢吉本の芸人さんは何人来られますか。正式な所属は。

吉本担当者 11名です。吉本クリエイティブエイジェンシー所属です。

吉本担当者 素人名人会は個人だけではなく、新喜劇コーナーというのをつくろうと思っています。新喜劇に5名から10名ぐらいのチームで参加して頂けたらと思っております。是非とも応募してください。参加者には新喜劇の演出家が台本をつくり、演技指導もさせていただきます。7～8分の短いお芝居になると思います。詳細はたけまるホールの方へお問い合わせください。

記者 それは、予選に参加した中から選ばれるんですか。

吉本担当者 新喜劇は別枠を考えていますので、予選はしない可能性もあります。

記者 市長どうですか。

市長 チーム市役所にびったりですので検討します。

(了)